

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備に必要な経費		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	企画課施設管理室		佐藤潤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法第5条第2項		関係する計画、通知等	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園第三期中期計画・(H25.3.29)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の建物の安全性の確保等に必要な施設整備を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の施設の整備工事 補助率10/10							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	291					123
		補正予算	558	175				
		繰越し等		510	175			
		計	849	685	175			123
		執行額	339	489	132			
	執行率(%)	33.9%	71.4%	75.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園における建物の改修及び修繕等に要する経費であるため、定量的な目標を示すことは不可能である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	改修及び修繕等の施工件数		活動実績 (当初見込み)	件数	4 (4)	0 (1)	1 (0)	0 (0)
単位当たりコスト	-		算出根拠		-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備費	0	123	受変電設備更新工事 123百万円				
	計	0	123					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するための施設であり、国が整備して実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札を採用して支出先を選定する等支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	一般競争入札を実施するなどの措置を講じており、中間段階での支出は合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	適切な施設運営を行うために老朽化した施設等の整備を行い、必要な経費に限定されている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	工事費の入札差金。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	施設運営に十分活用されている	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するための施設であり、適切な施設運営を行うためには老朽化した施設等の整備は必要な事業である。事業の効率性についても、適切な支出先の選定と支出を行っている。					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するため老朽化した施設等の整備は必要であり、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	520	平成23年	473	平成24年	417

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
132百万円(平成23年度)



A 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
132百万円



《一般競争入札実施分》

B (株)鵜川興業 121百万円

法面復旧・雨水排水改善工事

《随意契約分》

C (株)アイ・ディー・エー 6百万円

法面復旧・雨水排水改善工事設計業務

D 大成建設(株) 5百万円

A法面復旧工事・法面に係る鉄鋼板
一式

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	法面復旧・雨水対策改善工事	132			
計		132	計		0
B.鵜川興業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	法面復旧・雨水排水改善工事	121			
計		121	計		0
C.(株)アイ・ディー・エー			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	法面復旧・雨水排水改善工事設計業務	6			
計		6	計		0
D.大成建設(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	A法面復旧工事(鋼矢板引抜工事)	4			
雑役務費	法面(A部分)に係る鋼矢板リース	1			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	法面復旧・雨水排水改善工事	132		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鶴川興業(株)	法面復旧・雨水排水改善工事	121	4	71.7

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・ディー・エー	法面復旧・雨水排水改善工事設計業務	6	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大成建設(株)	A法面復旧工事(鋼矢板引抜工事)	4	随意契約	
2	大成建設(株)	法面(A部分)に係る鋼矢板リース	1	随意契約	